

ユティカ2022年感想文

テーマ：自分の信仰を見つける（自分と神様の関係）

私は今回実行委員の1人としてユティカに携わりました。仕事も忙しく思ったように準備が進まなかったり、会を企画する上で不安なこともありました。しかし、実際ユティカが始まってからは思った以上に良いユースの集いとなったことに感謝しています。理屈を超えて、神様が働き、皆の交わりを祝してくれていることを感じながら、二日を過ごしました。最後の日に証し会をしましたが、その時にたくさんの中高生が赤裸々に証をしてくれたことも本当に嬉しかったです。ああ！会を開いてよかった。奉仕の喜びを心から感じました。

渡邊航（デュッセルドルフ）



今年初めてユティカに参加したのですが、着いた途端からアイスブレイクのゲームをやらせてもらったり、スモールグループリーダーにならせてもらったりすることで、ユティカでは誰もが自分らしくいて、自分に合った形で奉仕できるんだなと実感しました。自分が生まれ育った関西以外の地方に住んでいる私にとってのハイライトは、思いっきり関西弁が話せたことでした！ インターナショナルな環境でイエス様の弟子として生きている同年代の方と交わりが持てたことは、本当に大きな祝福でした。ありがとうございました！

ウィルソン ジョアナ（日本）



感動することばかり！ パスタにりんごソース、朝の日差しで輝くアルプス、殺人を恐れる殺人者（ペー＊ー）（＊ゲームの事です）、それと神の声を聞いた少年サムエル！一年を締めくくる素晴らしい三日間でした。皆ありがとう！
ガウブ ミヒャ・ルカス（エジンバラ）





プログラムにはあんまり参加はできなかったけれど、いろんな人と話すことが出来てよかったです！みんなすごく楽しそうで、本当に良い時間だったと思いました。：)

ユティカはインターナショナルなティーンズとユースにすごく大事な集まりだと思います。
トムセンマイヤ（スイス）



ユティカはとっても楽しかったです。たくさんの人と仲良くなり、新しい友達もできました。最終日にみんなの心のこもった証しを聞いてとても良かったです。
リンダーマン トーマス あき（デュッセルドルフ）



ユティカ、とっても恵まれました！！参加者が、神様から励ましを受け取ったり、前より神様に興味を持ったりしているのを見たことが、今回一番印象的でした。

ユティカを通して、今年一年、繰り返し自分に問いたいと思う問いを持ちました。それは、”なぜわたしは音楽をしているのか？ なのために歌っているのか？”です。名誉のためでも、プロフェッショナルとしてのキャリアのためでもなく、いつでも神様が喜んでくださることだけを願ってしたいと思います。

神様を第一にして歩みたいと、強く思わされたユティカ2022でした！
井ノ上 歌歩（スイス）



ユティカで楽しかったのがゲームやスモールグループでの時間だった！ご飯も美味しかったし、皆優しかったし、ぜひまたユティカに行きたいと思ってる！😊

神様から受け取ったものは、もっと人を愛し奉仕に集中すること。それによって神様の愛を示せる！

後は、どんなトラブル、嬉しいことなどが起こっても祈って神様とコミュニケーションをとりたいです。シュバルツ クリスティーナ（ハイデルベルク）



この度は、ユティカの冬のキャンプに参加することができてとても嬉しく思います。大学を一緒に過ごした歌歩ちゃんにも久しぶりに会えて、日本を出て、海外で頑張っている新しい仲間たちに会うことで、自分も2023年良い年を過ごそうと言う気持ちになりました。

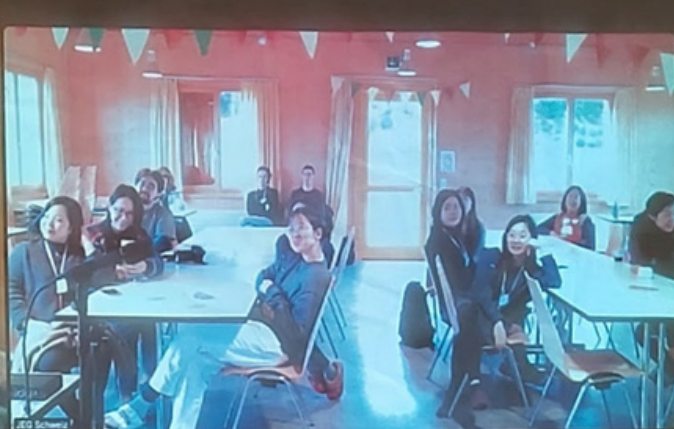
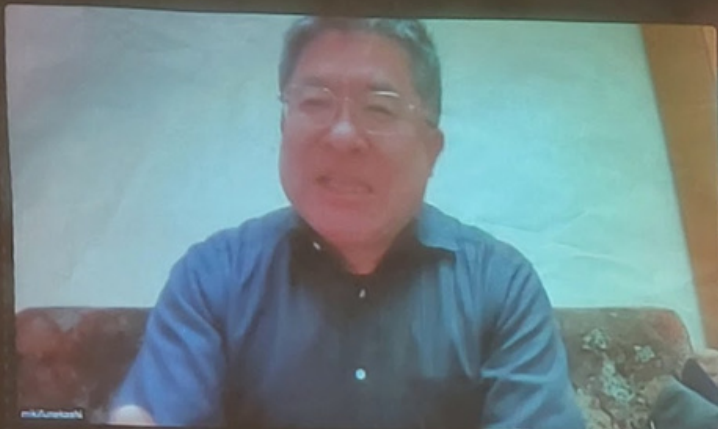
礼拝とスモールグループではよき管となること、よき預言者でありたいと思うこと、神様の喜ぶような生き方をしていくことなど、多くのことを学びました。また、皆の歌を伴奏することで音楽の素晴らしさ、賛美することの喜びを学びました。

サポートしてくださった実行委員会の方々、おいしい食事を作ってくださったの方々にもとても感謝しています。また機会があれば参加させていただきたいと思っています。よろしく願います。

中村 裕（フランス）



ユティカでの楽しい時間と出会いに感謝しています。スモールグループで、僕たちの経験や思いなどをたくさん分かち合えたのはとてもよかったです。次のユティカで、またみんなに会えるのを楽しみにしています！トムセン チャーリー（スイス）





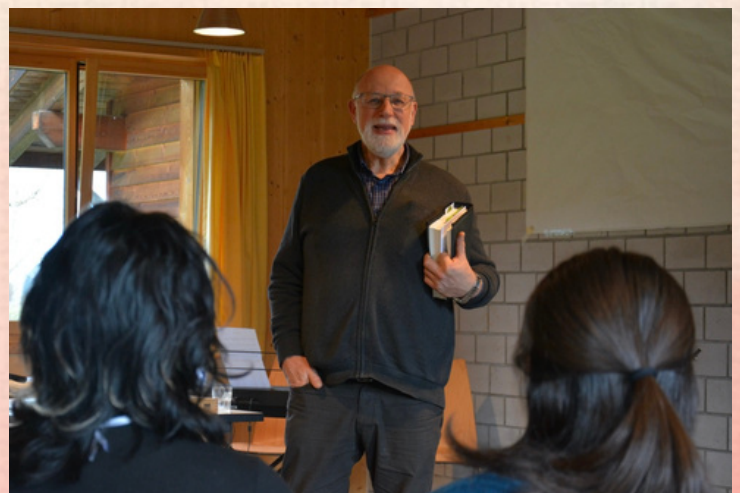
はじめにユティカに招待していただきありがとうございました。最初は親から勧められあまり行く気ではなかったのですが、ユティカにいき神様との時間というものを知れて、神様を信じるという事が自分の中で見えてきました。今、自分は17歳で神様を疑っていた時期にこのような、機会をいただき本当に良かったです。

また、一つお祈りしていただきたいことがあり、ユティカが終わってから、夜寝る前にお祈りをしようと決め、していました。その夜から三日に一回ほどの程度で、金縛りのようなものが起こるようになりました。これが神様のなにかと関係しているかはわかりませんが、お祈りよろしくお祈りします。

川副 ゆうき (デュッセルドルフ)

今年もユティカに参加できたことを主に感謝します。メッセージの中で、お祈りに力があるということを特に普段劇的なことがないと忘れがちだったなと気付かされました。というのも、自分は5月に神様からの知恵と力によって合格できた卒業試験の感謝も忘れて、10月から転職した新しい仕事のこと頭がいっぱいになっていたからです。そんな場合じゃない、祈り課題も来年に向けて再編したり、今までドイツ語の聖書をメインに読んでいて(2019年頃から通読開始、2023年1月読破)日本語で通読していた時よりも理解度落ちてる場合じゃなくて、もっと神様を見つめて祈って学んだりしてクリスチャンとして強くされていきたいと再確認できました。

佐藤 春香 (デュッセルドルフ)





ユティカを振り返って

今年は、コロナが始まる前以来の2回目の参加となりました。

夏の集い以来の再会だったり、新しく色々な人と知り合うことができたり、楽しい交わりの時でした!

まずは、このユティカを前々から準備してくださった実行委員の皆様、スタッフとして食事を準備して下さった方々、メッセージや賛美をリードして下さった方々、そして何よりもこの機会を通して大きな恵みを下さった神様に感謝です!

個人的に普段の生活から離れて、ふと一息するのが必要だった時、ユティカにて自分の気持ちや神様と改めて向き合うことができ良い時となりました。祈りを持って神様と向き合い、2023年新しい年を迎える事ができました。

新たな一年、みんなに神様からの沢山の祝福と恵み、そして導きがありますように。

また会う機会を楽しみにしています!

佐野 真帆 (スイス)



今回ユティカに初めて参加させていただきました。正直、どの会においても初めての参加は緊張し、また時に疎外感を感じるものだと思っています。特にこの会は既に顔馴染みの方々が多く、外側から見るとちょっとした同窓会のイメージでした。それにも関わらず、初めから全く疎外感を感じることなく学び、語り合い、そして楽しませていただきました。実行委員会の皆さんの雰囲気づくりや、何回も参加されている皆さんのお互いがお互いを受け入れあい尊重しあっている姿があったからこそだと思います。皆さんのおかげでとても心地よい雰囲気の中、過ごすことができたこと、また練られたプログラムのおかげで、参加者一人ひとりとゆっくりと話をする時間が与えられたことも感謝でした。

今回の参加者の中で私自身は30代に入り、違ったグループに入るのかもしれませんが、10代、20代の方々が共に自分の抱えている思いを共有し、話し合い、励まし合う姿を隣で見せてもらい、やっぱり同じ年齢層だからこそ語り合えるものがある、またそういった場が与えられているというのはとても大きな意味があるなぁと実感しました。

最後にこれだけは言いたいです。ご飯が毎回とても美味しく、もう本当に幸せでした。ありがとうございました! おかげで心も体も満たされた3日間でした。作ってくださっていた皆さんの温かな視線にずっと慰められていました。

今回誘って頂き、たくさんの出会いと温かな眼差しに感謝です。

伊勢 希 (ケルン)

ユティカ初参加でした！

ドイツに滞在する期間は半年間だと決まっていたので、まさかその期間に自分に、こうしたヨーロッパにいるクリスチャンと交わる機会が与えられているとは想像していませんでした。

日本でずっと暮らしてきた私にとっては、ヨーロッパの異なる国からみんなが一つの場所に集まるということは、不思議な感覚であり、とても素敵な経験でした。

ユティカ初参加だったため、参加する前はとても緊張していたのですが、初めて会ったみなさんがとても明るく迎えてくださって、アットホームな雰囲気癒され、日頃抱えている問題を肩からおろしてありのままの自分で過ごすことができました。

ユティカに参加する前の時期は、ちょうどさまざまな不安が重なり、とても気分が落ち込んでいて正直祈ることさえ出来ていませんでした。しかしユティカのメッセージで語られたのは、そんな状況の私を励ましてくれる御言葉でした。「ハンナのように抱えている問題を神様に打ち明ければ、ベストなタイミングで祈りが希望を与えてくださる。」辛い状況にあった自分にとってとても励まされる時を過ごすことができました。また、サムエルのように御声を聞き分けられるように、もっと神様のこと聖書のことを知っていくことが大切なのだと分かりました。

ユティカを通して留学先のドイツでも、信仰が守られる時間が与えられたことに感謝しています。

本間 朝実（デュッセルドルフ）



アットホームな場で友達との再会や新しい出会い、美味しいご飯とゲームの楽しい時間をありがとうございました。

ピーケンブロック 恩恵（ベルリン）



今回は久々に二泊三日のユティカを準備出来たことを感謝しています。会場探しから始まった準備でしたが、必要なものは備えられて、最終的には上手くいったことが嬉しかったです。今年のユティカは次世代のティーンズの信仰の励ましとなってほしいという思いから、サムエルの祈りがテーマとなりました。その思いが叶い、多くのティーンズが集まってくれて、お互いの関係を築きながらちゃんとメッセージを受け止めてくれたのが、感謝でした。これを励みに次の準備の奉仕も頑張りたいと思っています。

渡邊 カレン（デュッセルドルフ）



今年は現地でユティカに参加できて超よかったです。フランクフルトから友達とティーンズを連れて行くことができ、旅路から楽しく、ユティカが始まってからも楽しさが続き、最高でした。ユティカの全体的な流れがとても良かったと思います。次回は福音のタベ・ゴスペルナイトとかをしてもいいかなあと思いました。

自分自身は春から日本に引っ越す予定なので、次いつ参加できるかわからないけど、これからも応援していきたいです！！クリスチャンの繋がりを大切にしてお互いのために、また世界宣教のために支え合っていきたいです。
ガウブ ナタナエル（フランクフルト）

静かな場所でじっくり神様と向き合うことができ感謝でした。
次にみんなと会えるのが楽しみ😊
準備してくれたメンバーと与えられた奉仕が祝福された3日間でした！
須田 帆菜（ニュルンベルク）



ユティカは本当に楽しかったです。プログラム以外にも自由時間がたくさんあり、他の人たちや彼らの証を学ぶのにとても役に立ちました。ユティカでは誰もがオープンです。皆が真剣に向き合ってくれるので、自由に自分を現わすことができます。メッセージは少し理解しにくいこともありましたが、それぞれのメッセージの本質を理解することはできたと思います。今年のユティカには初めて同年代の人も参加したので、本当にありがたかったです。
ヴァイランド 天音（スイス）

